

平成29年度の重点課題

○男子は、「50m走」で6学年中4学年、「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」で6学年中5学年が、県平均かつ全国平均に達していない。  
 ○女子は、「20mシャトルラン」で5学年中4学年、「反復横跳び」で5学年中3学年が、県平均かつ全国平均に達していない。  
 ○全体的には、走力、持久力に課題があり、特に男子の体力に課題がある。  
 ○D判定の児童には、保護者との連携を図り、規則正しい生活習慣の確立を促したり、徒歩通学を推奨したりするなど、個別指導をする必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

◎「50m走」「20mシャトルラン」(走力・持久力)  
 ○毎日の業間体育でグラウンドを走り、その後、高速足ふみ、バウンディング走、50m走に取組んだ。50m走では、2人でペアを組み、前方と後方に分かれてスタートし、追いかける子と、追いかける子に分け、全力で走らせた。  
 ○全校遊びをする際に、児童会を中心に走力や持久力を高める遊び(おにごっこ)を計画的に入れた。  
 ○業間体育では、マラソン大会にむけて、目標タイムや走る距離・周回数などの目標をもたせて取組ませた。  
 ○雨天や冬場は、体育館で「なわとび」をし、跳躍力、調整力をつけさせた。  
 ○体育授業の始まりには、「サーキットトレーニング」「肋木にぶら下がり」「垂直跳び」「ストレッチ」を取組ませた。

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成29年度)・全国平均値(平成28年度)との比較)

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|
|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|

個人の特定につながるため、データの公開は致しません。

平成30年度新体力テストの結果(県平均値(平成30年度)・全国平均値(平成29年度)との比較)

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|
|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|----|----|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-------|-------|

個人の特定につながるため、データの公開は致しません。

重点課題

○男子は、「長座体前屈」で5学年中4学年、「20mシャトルラン」は5学年中3学年、県平均かつ全国平均に達していない。  
 ○女子は、「長座体前屈」「20mシャトルラン」が、5学年中4学年、県平均かつ全国平均に達していない。  
 ○全体的に、持久力、柔軟性に課題がある。  
 ○EやD判定の児童には、保護者との連携を図り、結果を踏まえての体力向上を家庭で実践してもらうよう呼びかける。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

○全校終わりの会の待ち時間の数分間、前屈などの柔軟体操(ジャックナイフ ストレッチ)を取り入れ、体を柔らかくさせていく。走力や持久力の向上をはかるために、腕立て(20回)、スクワット(50回)、腹筋(20回)も行わせ、体幹も鍛えていく。  
 ○走力や持久力の向上をはかるために、腕立て(20回)、スクワット(50回)を、全校終わりの会に、全児童にさせた。  
 ○毎日、業間体育で、グラウンド(200m)を2周走り、自己記録の更新に挑ませる。その後は、50mダッシュ走(2本)に取組み、持久力と走力を養う。  
 ○児童会主催での全校遊びでは、「鬼ごっこ」を取り入れるなど、自然と走力を鍛えるゲームを意図的・計画的に取り入れる。  
 ○校外持久走記録会、縄跳び発表会などの体育的行事を学期ごとに設定し、個人目標を持たせるなど、主体的な学びとなるよう全校で仕組んでいく。  
 ○5月の新体力テストの結果を、各家庭に知らせ、体力向上に努めてもらう。  
 ○長座体前屈と20mシャトルランの計測を、9月、10月、11月と行い、それぞれの個人記録を伸ばしていく。

平成31年度の目標値

○「走力・持久力のアップ」  
 ○「20mシャトルラン」「長座体前屈」において、男女とも県平均かつ全国平均以上の学年を3つ以上にする。